

10月号 No.294

10月の休園日：6日（月）、14日（火）、20日（月）、27日（月）



スザン

今月のイベント

10月18日（土）【イヌワシ舎 完成披露式】

10月19日（日）【秋の臥竜公園写生大会】

10月25日（土）26日（日）【秋の動物園まつり】

ハロウィンにちなんで…仮装して来園すると入園料無料!!

（10月31日（金）も仮装者は入園無料）

詳しい内容はホームページをご覧ください。



コールダックのオスメスのちがいは??



メス

- ・首がメスより太め。
- ・「ガーガー」と低い鳴き声。
- ・声量は小さめ。
- ・成鳥になると、尾羽の上に「くるん」と卷いた羽（カールした羽）が出る。



おばね
尾羽の
カール
あり



おばね
尾羽の
カール
なし

- ・体がやや小柄。
- ・「ガーガー」と高い鳴き声で鳴く。
- ・尾羽のカールはなし。

季節に対応するためのタヌキの変化

須坂市動物園には「さとちゃん」と「ふきちゃん」二頭のホンドタヌキが暮らしています。

二頭は姉妹ですが、顔や性格が全く違います。さとちゃんはキツネに近い顔をしていて綺麗なシックとした顎のラインをしています。性格はとてもクールで自分の考えをしっかりと持っています。ふきちゃんは、タヌキらしいいたれ目で、かわいらしい顔をしています。そして、とても穏やかで優しい性格をしています。

そんな二頭ですが、最近ではお互い向き合って話しているような場面がたびたび見られます。何についての話をしているのでしょうか♪

二頭とも夏の暑さが増すにつれ、毛量が少なくなり身軽になりました。これは換毛と言って季節の変化に合わせて毛が生え変わることを指します。タヌキは年に2回換毛期があります。

春から夏にかけ冬毛が抜け夏毛になります。また、秋から冬にかけて夏毛が生え変わり冬毛になります。環境の変化に伴い動物達も様々な変化をしながら適応していく姿はとても強くてたくましさを感じられますね。

ホンドタヌキ担当：佐藤

丸いさとちゃんから（寒い季節）



スッキリしたさとちゃんに！（暑い季節）



頬袋の持ち主

ニホンザルのモンちゃんがエサを食べているところを見たことがありますか？

よく見ていると、食べているうちに頬がパンパンに膨らんでいきます。そう、ニホンザルには口内に食べ物をため込むことができる頬袋があるんです。頬袋を持つ動物というとハムスター やリスのイメージが強いですが、実は一部のサルも頬袋を持っています。

モンちゃんは野生から保護してきた個体のため、1頭で生活をしています。他の個体にエサを奪われるようなことはないのですが、それでもエサを与えると次々に頬袋に詰め込んでいきます。頬袋にエサを詰め込むスピードの速いこと速いこと！

エサは野菜や果物を中心に与えますが、好きな食べ物、普通の食べ物、あまり好きではない食べ物があるので基本的に好きなものから口に入れてていきます。ぜひ、どんなものから選んで食べているのか、どのくらい頬袋が膨らむのか観察してみてくださいね。

ちなみに、モンちゃんのお隣の獣舎のワオキツネザルも「サル」ですが、彼らは頬袋を持たず、また、食べ方もニホンザルとは違います。見比べてみると面白いですね。



ニホンザル担当 矢嶋



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

Tel: 026-245-1770 Fax: 026-248-1793

HPは、こちら！

